

## 市立太田高等学校アメリカ研修 2日目 (3/5)

昨夜遅くから雪が降り、春の陽気だった日本から比べると体に堪える寒さです。それでも今日の気候は現地の方から言わせると、「寒いとは言わない」らしく、ボストンの厳しい冷え込みに体調を崩さないか心配ですが、本日も全員元気に過ごしていました。

今朝が学校初日となったためホストファミリーが駅まで送ってくれたり、中には学校まで付き添ってくれるなどのサポートを受け、皆無事に学校にたどり着くことができました。8:30の集合時間には数組遅れてしまいましたが、電話で状況を知らせるなど冷静に対応してくれました。地下鉄が止まってしまった、最寄りの駅までは順調でも降りてから学校の場所が分からなかったなど、予想していなかった事態もあったかと思いますが、その経験をこれから活かしていってくれることを期待しています。

学校ではまずオリエンテーションが行われ、学校のルールや授業について、ボストンについてなど説明を受けました。学校のスタッフは当然ながら英語で、ゆっくりと話してくれたため理解はしやすかったようです。ただ、話しかけられると一転、とっさに返事が出来ず友達と顔を見合わせたり、日本語で答えてしまうなどまだまだ英語に対してのハードルは高いようです。その後行われたテストでも、筆記は簡単、リスニングは難しいという意見が多かったです。

今日のランチは学校が用意してくれたサンドイッチを教室で食べたのですが、オリエンテーションを担当してくれたスタッフも一緒にいたためか、最初はひたすら食べることに集中した沈黙が続きました。その後、スタッフの方からの質問に答える形で、徐々にコミュニケーションが始まりました。実は、今朝提出してもらった日記には、「積極的に英語を話したい」「自分の力を試したい」との前向きな言葉が多くありました。ですが実際には、自ら話しかける勇気がある生徒は少なく、一步を踏み出すことの難しさを感じたようです。

午後のアクティビティは、ボストンの歴史を歩きながら知ることができるフリーダムトレイル。スポットごとにその場所にまつわる歴史的な出来事を説明してくれます。ここでもガイドの方から、「質問は？」と何度も尋ねられました。なかなか言葉が出てきません。流れるような英語での説明に、聞いた事の無い単語の数々。その都度わからないと声をかけるタイミングがつかめなかったようです。ボストンの街並みを見て、感じたことや得たこともあります。課題も多く見つかった初日となりました。明日以降、今日の経験を踏まえてそれぞれが成長に繋がる一步を踏み出せるような後押しをしていきたいと思えます。



オリエンテーション



FLS のTシャツを着て



学校の周りを案内



学校の近くのお店で初めての買い物



フリーダムトレイル



ガイドさんと